

2016年7月11日
テュフ ラインランド ジャパン株式会社

【プレスリリース】

テュフ ラインランド ジャパン、
世界初、ホームネットワーク側向け ECHONET Lite/AIF 認証を発行
西日本電信電話株式会社の「光 BOX⁺」に搭載する ECHONET Lite コントローラを
エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社が開発

テュフ ラインランド ジャパン株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:ホルガー・クンツ)は、6月14日付けで、エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社の ECHONET Lite コントローラに世界初のホームネットワーク側向け ECHONET Lite/AIF 認証を発行したことを本日発表しました。

テュフ ラインランド ジャパンは、一般社団法人エコーネットコンソーシアムより「ECHONET Lite/AIF 認証試験機関^{*1}」および「ECHONET Lite/AIF 認証機関^{*2}」に2016年2月29日付で認定され、2016年4月1日より「認証試験サービス」と「認証サービス」を始めました。このたびのエヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社の ECHONET Lite コントローラに発行した認証は、エコーネットコンソーシアムが指定する認証試験に合格し、要求事項に適合していることを認めたものです。エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社の ECHONET Lite コントローラは、西日本電信電話株式会社の家庭用情報機器「光 BOX⁺」に搭載されます。

ECHONET Lite 通信プロトコルは、スマートメーターと HEMS コントローラー、および HEMS コントローラーと HAN(家庭内ネットワーク)の通信規格として採用が進んでいます。2016年4月1日からは、新しい認証制度「AIF 認証(アプリケーション通信インタフェース認証)」が開始されました。AIF 認証とは、相互接続性の向上を図るため、アプリケーション通信インタフェース仕様に沿って行う第三者認証機関による認証・試験のことです。

日本では、スマートメーターと HEMS コントローラーとの間の通信、HEMS コントローラーと家電との間の通信に ECHONET プロトコルを用いる場合、対象機器(スマートメーター、HEMS 機器、重点 8 機器^{*3}、他)は、仕様適合性と機器間の相互運用性の確保のため、エコーネットコンソーシアムが指定する認証試験を実施し、合格することが必要です。

^{*1} ECHONET Lite/AIF 認証試験機関とは、認証試験仕様に基づき、試験を実施する機関

^{*2} ECHONET Lite/AIF 認証機関とは、試験結果に基づき、認証合否を判定する機関

^{*3} 重点 8 機器:スマートメーターB ルート、太陽光発電、蓄電池、燃料電池、EV/PHV、エアコン、照明機器、給湯器の 8 機器のこと。

【テュフ ラインランド グループについて】

テュフ ラインランドは、140 年の歴史を持つ世界でもトップクラスの第三者検査機関です。グループの従業員数は全世界で 19,600 人、年間売上高は 19 億ユーロにのびます。第三者検査のエキスパートとして、人々の暮らしのあらゆる面で、品質、安全、環境、テクノロジーを支えています。産業用装置や製品、サービスの検査だけでなく、プロジェクト管理や企業のプロセス構築もサポートしています。また幅広い業種、職種について、専門的なトレーニングも実施しています。こうしたサービスは、テュフ ラインランドの認定ラボや試験設備、教育センターのグローバルネットワークによって支えられています。テュフ ラインランドは、2006 年より国連グローバル・コンパクトのメンバーとして活動しています。ウェブサイト: www.jpn.tuv.com

【報道関係者からのお問い合わせ先】

テュフ ラインランド ジャパン株式会社

マーケティング部広報課 井田 美穂、澤 操、吉家 由貴子

E-mail: pr@jpn.tuv.com Tel: 045-470-1850